

# JPドメイン名の概況と ドメイン名を取り巻く状況について

2019年5月22日(水)  
株式会社日本レジストリサービス(JPRS)

## 目次

1. JPドメイン名の概況
2. ドメイン名市場動向
3. ドメイン名を取り巻く環境
4. JPRSの最近1年間の主な活動

# 1. JPDメイン名の概況

## JPDメイン名の種類

- 汎用JPDメイン名  
○○○.jp  
jca-home.jp、jprs.jp、  
総務省.jp、第一生命.jp
- 都道府県型JPDメイン名  
○○○.tokyo.jp  
○○○.京都.jp  
shinmachi.aomori.jp  
しかまろくん.奈良.jp
- 属性型JPDメイン名  
○○○.co.jp  
○○○.ne.jp  
biglobe.co.jp、dls.co.jp、  
keidanren.or.jp、nic.ad.jp、  
ocn.ne.jp、soumu.go.jp、titech.ac.jp

# JPドメイン名の種類と登録数(2019/5/1現在)

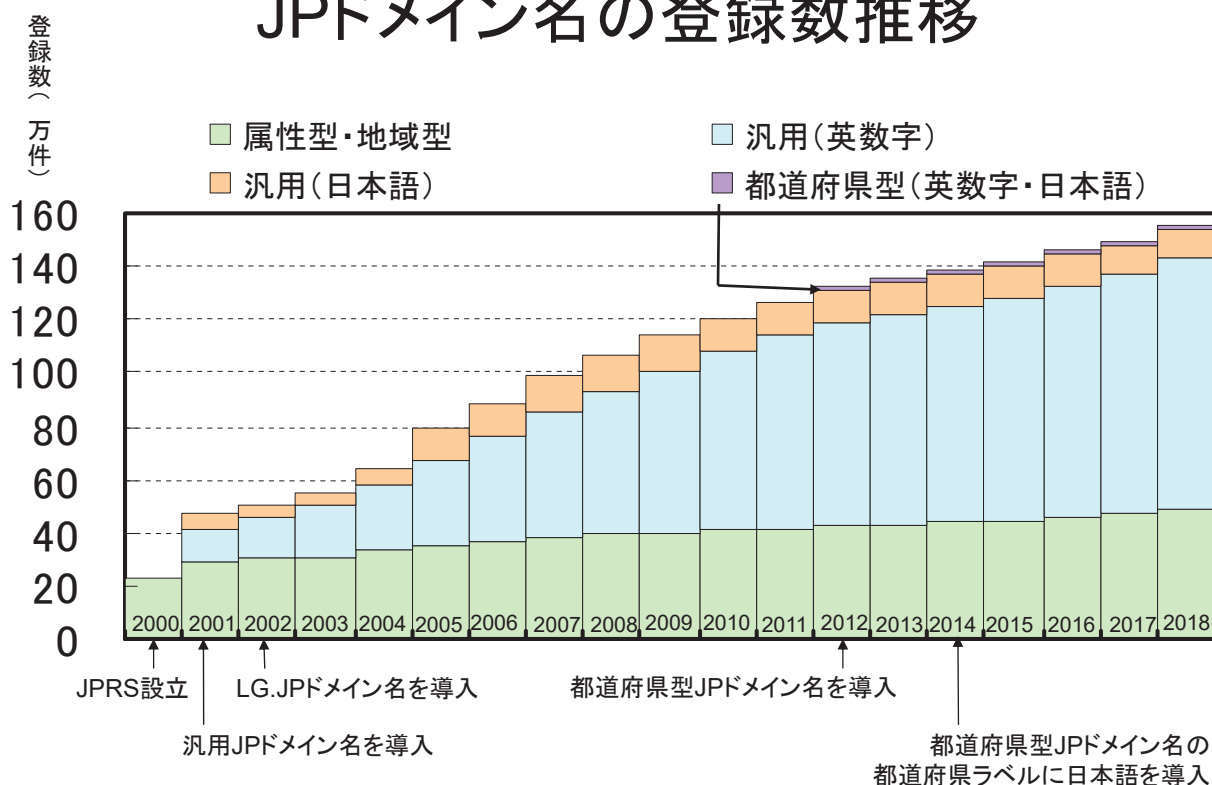
種類	登録数
汎用JPドメイン名	1,063,116
都道府県型JPドメイン名	11,956
属性型・地域型JPドメイン名(※)	491,957

総計 1,567,029

(※)属性型・地域型JPドメイン名の内訳

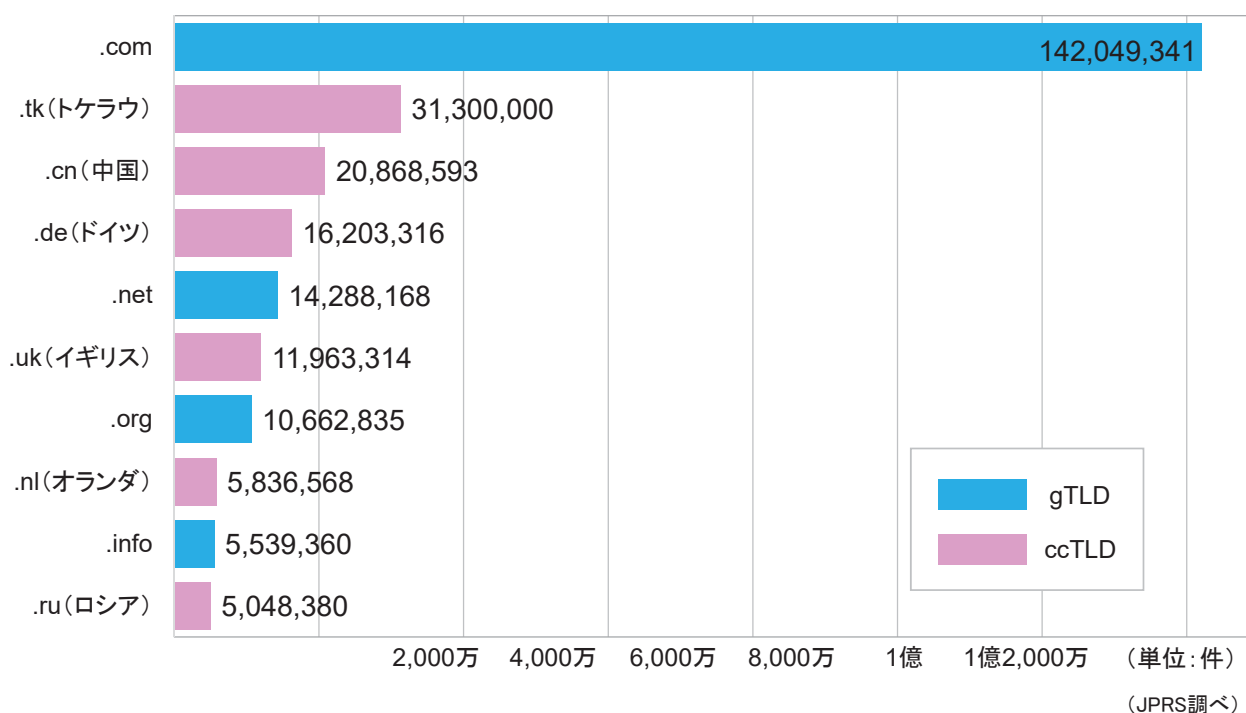
△△△.CO.JP	企業	422,014
△△△.OR.JP	企業以外の法人組織	36,782
△△△.NE.JP	ネットワークサービス	13,219
△△△.GR.JP	任意団体	5,972
△△△.ED.JP	小中高校など初等中等教育機関	5,373
△△△.AC.JP	大学など高等教育機関	3,662
△△△.LG.JP	地方公共団体	1,890
△△△.GO.JP	政府機関	582
△△△.AD.JP	JPNIC会員	252
地域型	地方公共団体、個人等	2,211

# JPドメイン名の登録数推移



## 2. ドメイン名市場動向

### 登録数の上位TLD(2018年12月時点)



## gTLDの登録数

従来からあるgTLD		2000年募集(1回目)		2003年募集(2回目)	
TLD名	登録数 (2018年12月時点)	TLD名	登録数 (2018年12月時点)	TLD名	登録数 (2018年12月時点)
.com	142,049,341	.info	5,539,360	.jobs	46,698
.net	14,288,168	.biz	2,240,458	.travel	18,928
.org	10,662,835	.name	135,191	.mobi	479,780
.edu	非公開	.pro	322,027	.cat	108,111
.gov	非公開	.museum	974	.asia	286,448
.mil	非公開	.aero	11,315	.tel	77,459
.int	非公開	.coop	8,241	.xxx	146,407
				.post	414

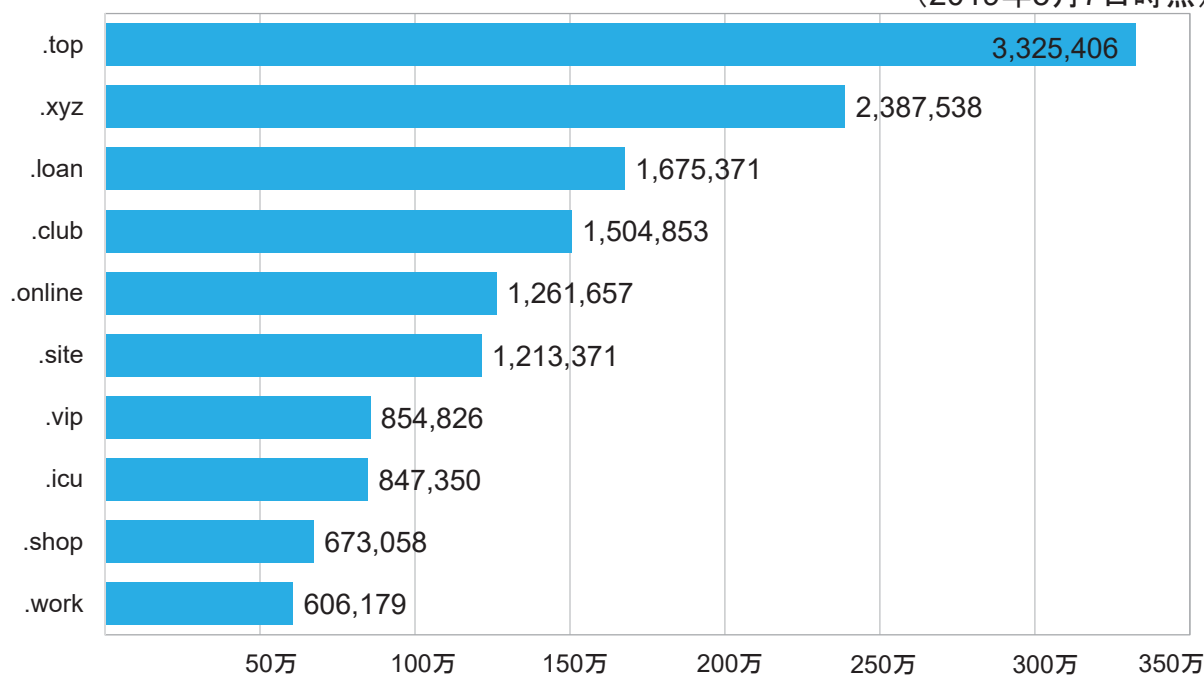
※サービスが開始された順

※サービスが開始された順

「gTLDの登録数」より  
<https://www.nic.ad.jp/ja/stat/dom/gtld.html>

## 2012年の募集で新設されたgTLDの登録数

(2019年5月7日時点)



「nTLDStats」より  
<https://ntldstats.com/>

# 国内の地理的名称gTLD

(2019年5月1日時点)

TLD(地理的名称)	登録数
1. .tokyo(東京)	141,310
2. .nagoya(名古屋)	7,510
3. .yokohama(横浜)	5,849
4. .okinawa(沖縄)	5,504
5. .kyoto(京都)	843
6. .osaka(大阪)	664

「nTLDStats」より  
<https://ntldstats.com/>

# ブランドTLD

- 「ブランドTLD」を持つ企業(レジストリ)において、企業のグローバルサイトやメールアドレス、サービスやイベントのサイトで利用され始めている
- 概況(2019年3月現在)
  - 2012年の募集で創設されたTLDは1,200を超えている
  - ICANNとの契約上「第三者へのドメイン名登録サービスを行わない(≒ブランドTLD)」約定を取り交しているTLD数
    - 世界(日本からの申請TLD含む): 538
    - 日本: 47

.able/.bridgestone/.brother/.chintai/.canon/.datsun/.dnp/.epson/.firestone/.fujitsu/.gmo/.goldpoint/.goo/.hisamitsu/.hitachi/.honda/.infiniti/.jcb/.jprs/.kddi/.komatsu/.lexus/.lixil/.lotte/.mitsubishi/.nec/.nhk/.nico/.nikon/.nissan/.nissay/.ntt/.otsuka/.panasonic/.pioneer/.playstation/.ricoh/.sakura/.sharp/.softbank/.sony/.suzuki/.tdk/.toray/.toshiba/.toyota/.yodobashi

## 3.ドメイン名を取り巻く状況

### ドメイン名を取り巻く状況(1/2)

- インターネットが発展・拡大し、「道具」から「社会基盤」となり、関わる人々や国々における議論の対象は技術から経済・社会分野へと移ってきている
- 近年、サイバー空間の安全を維持するためには適切な規制を行う必要があるとする議論が世界各国で高まっており、インターネットに対する国家の直接的関与が増えつつある。一方、これまでのインターネットの発展は、民間主導であったからこそ得られたものであり、今後も国家の関与は抑制的であるべきとの意見も根強い
- このような中、インターネットを支えるドメイン名業界においても、個人情報や知的財産の扱い、セキュリティ、反社会的なコンテンツの扱いといった社会的な課題や要請にどのように応えていくべきかという議論がなされつつある

## ドメイン名を取り巻く状況(2/2)

- サーバー証明書の普及
  - 従来、通信データの暗号化を目的に、個人情報などを入力するWebページにのみ利用されていたサーバー証明書が、情報入力を伴わないWebページを含むWebサイト全体で利用へと広がっている
  - ブラウザ各社は、サーバー証明書を設定していないWebサーバーにアクセスしたときの警告表示を強化。例えば、Googleが提供するChromeでは、2018年7月以降、サーバー証明書を設定していないWebページで常に警告表示

■ Google Chromeの表示例(サーバー証明書を設定していない場合)

2018年7月以前	現在

## 4. JPRSの最近1年間の主な活動



## JPRSの最近1年間の主な活動 ～ JPDメイン名におけるサービス改定～

- 学校名の日本語JPDメイン名の通常登録申請の受け付けを開始(2018年11月)
  - 対象
    - 汎用JPDメイン名、都道府県型ドメイン名で、「〇〇小学校.jp」「〇〇高校.東京.jp」といった初等中等教育機関などの名称を使ったドメイン名
    - 日本国内に住所を持つ学校及び学校の設置者(学校法人や自治体など)が登録可能
  - 先着順による競争の緩和などを目的とした同時登録申請の受付期間(2017年10月2日から2018年9月27日まで)を経て、11月1日より通常の実願順による登録申請の受け付けを開始

## JPRSの最近1年間の主な活動 ～インターネット教育支援～

- 「インターネットの仕組み」を学べるマンガ小冊子を全国の教育機関に無償配布(2018年5月)
  - インターネット関連教育支援活動の一環として、教材の配布を希望する中学校・高校・高等専門学校から申し込みを受け付け、無償で配布
- 「第21回全国中学高校Webコンテスト」への協賛(2019年2月)
  - 特定非営利活動法人 学校インターネット教育推進協会が主催する「第21回全国中学高校Webコンテスト」に協賛し、応募されたWeb作品へのJPDメイン名の提供と優秀作品へのベストドメインネーミング賞を贈呈

## JPRSの最近1年間の主な活動

### ～グローバルな議論への参画～

- インターネットガバナンスフォーラム(IGF)及びアジア太平洋地域インターネットガバナンスフォーラム(APrIGF)への参加
  - IGFは国際連合(国連)が管轄する国際会議で、2006年以降、年1回開催されており、2018年は、11月にフランスのパリで開催
  - APrIGFは、アジア太平洋地域の参加者を中心に2010年より年1回開催されており、インターネットガバナンスに関する世界的な課題だけでなく、アジア太平洋地域特有の課題も含めて議論されている。2018年のフォーラムは8月にバヌアツのポートビラで開催
- ICANNが設置した、日本語を使った新しいTLDのラベルのルールを検討するパネル「JGP」への参加の継続

## JPRSの最近1年間の主な活動

### ～技術コミュニティへの貢献(1/2)～

- JPRSの技術者が著者となった、書籍『DNSがよくわかる教科書』出版(2018年11月)
  - JPRSの渡邊結衣、佐藤新太、藤原和典が著者、森下泰宏が監修となった書籍『DNSがよくわかる教科書』をSBクリエイティブより出版
  - インターネット技術に関わる初学者や、インターネット技術を基礎から学び直したい技術者を対象に、インターネットを支える重要な仕組みの一つであるDNSについて、周辺知識も含めて基礎から解説している
- JPRSの技術者が著者となったRFCが発行(2019年1月)
  - ICANNのPaul Hoffman氏、Andrew Sullivan氏、JPRSの藤原和典の共著によるRFC 8499が、「現状における最良の慣行(Best Current Practice)」として発行
  - RFC 8499は、従来のDNS用語集であるRFC 7719を置き換えるもので、RFC 7719からさまざまな用語の追加と内容の改訂が行われており、DNSで使われる数多くの用語を一つの文書にまとめ、現在の定義を提示している

# JPRSの最近1年間の主な活動

## ～技術コミュニティへの貢献(2/2)～

- DNS関連技術情報の公開 及び コミュニティへの注意喚起
    - DNS関連技術情報やセキュリティ情報をWebページ(\*3)で随時公開。  
また、必要に応じてコミュニティへ注意喚起を実施
    - 上記に加え、2018年は2017年に引き続きルートゾーンKSKロールオーバーについて随時情報を公開
- (\*3) DNS関連技術情報 <<https://jprs.jp/tech/index.html>>

# JPRSの最近1年間の主な活動

## ～プレスリリース～

(2018年4月1日～2019年4月30日)

日付	タイトル
2018年5月15日	JPRSがインターネットを支えるドメイン名とDNSについて学べるマンガ小冊子を全国の教育機関に無償配布
2018年11月1日	学校名の日本語JPDメイン名の通常登録申請の受け付けを開始
2019年2月18日	JPRSが「第21回全国中学高校Webコンテスト」に協賛し、JPDメイン名の利用体験を提供
2019年3月27日	JPRSが『JPDメイン名レジストリレポート2018』を公開